

第1学年 生活科学習指導案

日 時 令和元年10月4日(金) 4校時 公開授業Ⅰ
場 所 1年3組教室
児 童 3組(男子17名 女子13名 計30名)
指導者 加美山 悦子

1 単元名 「じぶんでできるよ～めざせ!おてつだいめいじんへのみち～」東京書籍(P84～85)

2 単元について

(1) 教材について

この単元は、学習指導要領の生活科の内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分のできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。」を受けて設定したものである。

内容構成の具体的な視点としては、「ア 健康で安全な生活」「イ 身近な人々との接し方」「コ 成長への喜び」「サ 基本的な生活習慣や生活技能」を位置付けて単元を構成している。

本単元では、生活の基盤である家庭に目を向け、児童が家族の一員として積極的に自分の役割を果たし、よりよい生活をしようとする生活態度を育てることをねらいとしている。児童が自分の生活や家族について調べたり話を聞いたり、家の仕事を手伝ったりすることを通して、家族・家庭の温かさを実感するとともに、家族の一員として自分ができることを考え、よりよい生活をしようとする態度を育むことができる教材であると考えられる。

(2) 児童の実態

児童は、生活科の中で、身近な事象を目で見、耳で聞き、足で調べることが大好きである。そこで、1学期から一貫して行っていることは、調べたことや気付いたことを絵と言葉で学習カードに記録することである。このことによって、自分の思いを相手に伝え、子どもらしい発見がたくさんあり、児童自身がその発見に大きな喜びを感じてきた。

「がっこう だいすき」の単元では、お母さんと一緒に中ズック洗いをした体験をもとに、お母さんの中ズック洗いの腕前を自分と比べることによって、「お母さんの中ズック洗いの音は、‘ごしごし’だったが、自分の中ズック洗いの音は‘スースー’だったよ。」とその違いに気付くようになった。比較という認識の方法ができつつある。

また、本単元に関して、夏休みに自分ができるお手伝いを実践させたが、頑張っただけの実践したものの毎日の取組みには至っていない。そこで、自分ができることを継続していくという思いをもたせたい。よって、家庭生活を支えている家族と自分とのかかわりに関心を持ち、健康な生活や家族のために自分自身ができることをしていこうとする気持ちを高めていきたいと考える。

そこで、記録してきたカードを振り返って、作品を作ることで、自己の成長に気付かせたい。また、児童同士を交流させることによって、友達のよさに気付いたり、手伝えることへの意欲を高めたりする。そのことは、自我の芽生えと社会性の成長につながるものと考えられる。

(3) 指導にあたって

単元の展開にあたっては、第1小単元では、自分の生活や家族に関心を持ち、自分ができることや家族の家での仕事について調べることを通して、家族の温かさや大切さに気付くことができるようにする。また、この活動から、家庭生活では自分が家族にしてもらっていることが様々あることに意識を向けられるようにしていきたい。

第2小単元では、家族が家庭の中でしている仕事を調べる中で、自分にできることを考え、実践できるようにしていく。その際、家の仕事をする家族の思いや、家族や自分のよさに気づき、家族の一員としてできることをしようとする意欲を高めたい。そのために、家族が楽しい気持ちになったり喜んだりするのはどんな時かを話し合う。自分でできることの実践後には、実践してよかったことや気付いたことを友達と交流することにより、やってよかった、これからも続けていこう、他の事もできるかもしれない等、積極的に家族のために何かできることをしようとする意欲を高めたい。

第3小単元では、第2小単元で考えた今後への意欲を大切にしながら、自分の家庭での役割を継続して果たしたり、増やしたりするとともに、生活リズムを大切に健康に気を付けて生活することができるようにしていく。そして、家族の大切さや家族の思いや願いに気づき、家族への感謝の気持ちを手紙で届けることで、これまでの学習活動の達成感を味わうことができるようにする。

単元を通して、実際に活動する場面を設定し、単元の最後には、家族への感謝の気持ちと今後の自分の生活に対する意欲を表現させたい。体験を通し、様々な学びをつなげていくことで、児童の学びの質がより高いものになると考える。児童が何のために学ぶのかを自分自身で自覚し、学んだ結果、豊かな生活につながるよう教材を活用したいと考える。

生活科の本単元の学習後には、道徳科の「はちさんのバッジ」の学習を通して、身近な人々にお世話になっていることが分かり、それらの人々に感謝の気持ちをもとうとする心情を育てたい。また、生活科の「もうすぐ2年生」の単元において、自分や友達の成長、それらの成長を支えてくれた人々の存在に気づき、2年生に向けての意欲をもてるよう発展させたいと考える。

3 単元の指導計画

(1) 目標

家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人々のよさ、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

(2) 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
家庭生活を支えている家のことや、自分でできることなどに関心を持ち、家庭生活における自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとしている。	家庭生活やそれを支えている家の人のこと、自分でできることなどについて、自分なりに考えたり、家庭生活が楽しくなるように工夫したりして、それを振り返って、友達と伝え合っている。	規則正しく、健康に生活することの大切さや、家庭生活を支えている家の人のことや、自分のできることや、自分の役割に気付いている。

(3) 単元の指導計画 (全12時間)

小単元	目標	時	○主な学習活動 ●家庭での活動 【見方・考え方】	主な評価規準 (方法)
じぶんにちをみつめよう	自分の生活や家庭に関心を持ち、自分ができることや家族の家での仕事について知ることができる。	1	○家庭生活について、どんなことを学習したいのか話し合い、単元の見通しをもつ。 ○家庭での、自分の1日の生活を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じぶんの1にちをみつめよう。</div>	【関】自分の1日の生活を思い出して、進んで発表しようとしている。(発表) ・家族構成や手伝いに対する家族の考え方に配慮する。
		2	●自分の1日の生活を調べる。 ○調べてきたことをもとに、自分の生活を記録カードに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じぶんでできるよ～じぶんのことはじぶんで～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じぶんの1にちをかこう。</div>	【関】調べてきたことをもとに、自分の1日の生活をワークシートに書こうとしている。(ワークシート)
		3	○記録カードをもとにして、友達と見付けたことや気付いたことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">1にちのせいかつをはなしあおう。</div> 【視点2 自分との関係～規則正しく生活することのよさ～】	【気】家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いている。(発表) 【気】家庭の温かさ、家族と一緒にいることのよさに気付いて話している。(発表)
じぶんでできることを	家庭での自分の役割に気づき、自分のできることを考え、実行することができるようにする。	4	○家族がしていることや、家族にしてもらっていることを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じぶんでできるよ～おてつだいだいさくせん～</div> ●家族がしていることや、家族にしてもらっていることを調べる。	【関】家族がしていることや家族にしてもらっていることを思い出して、進んで発表しようとしている。 (発表)
			●家族がしていることや、家族にしてもらっていることを調べる。	【思】家で調べたり尋ねたりすることを考え、記録カードに書いている。(記録カード)

し よ う 6 時 間		<p>かぞくがしていることをしらべよう。</p> <p>【視点2 自分との関係 ～家族の仕事と自分～】</p>	
	5	<p>○調べてきたことを伝え合 う。</p> <p>かぞくがしていること をはっぴょうしよう。</p>	<p>【関】 家庭生活には、それぞ れの果たしている仕事や役 割があることに気付き、自 分でできることへの意欲を もつ。(発表・ワークシート)</p>
	6	<p>○家庭で自分ができることを 考え、実施する計画を立て る。</p> <p>じぶんができるおてつ だいをかんがえよう。</p> <p>【視点2 自分との関係 ～自分や友達のよさ～】</p> <p>●自分でできることに取り組 む。</p>	<p>【関】 家族のために自分で できることを考え、実践しよ うとしている。 (ワークシート)</p>
	7	<p>○自分が取り組んだことを作 品に表す。</p> <p>「わたしとかぞくものが たり」をつくろう。</p>	<p>【関】 自分が取り組んだこと やこれから続けようと考え たことを、意欲的に絵や文 章にしようとしている。 (絵本や紙芝居等)</p>
	8 9 (本 時 8)	<p>○これまでの「おてつだいだ いさくせん」で気付いた、 自分や家庭の思いや願いに ついて絵や文章を使って伝 え合う。</p> <p>おてつだいのひみつを はっぴょうしよう。</p> <p>【視点2 自分との関係 ～自分と家族の喜び～】</p>	<p>【気】 自分でできることや家 庭生活における役割が増え た自分や友達の成長、よさ に気付いている。 (発言・発表・ふり返しカー ド)</p>

3 時 間	自分の家庭生活で の役割を継続的に果 たしたり、増やした りするとともに、生 活リズムを大切に して、健康に気を付 けて生活することが できるようにする。	10	○自分がさらに続けていき たいこと、挑戦したいこと を考え、記録カードに書く。	【思】家庭でさらに続けてい きたいことや挑戦したいこ とを先で発表しようとし ている。(発表)
		じぶんでできるよ～めざせ！おてつだいめいじんへのみち～		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おてつだいめいじん をめざそう。</div> <p>●家庭や学校で、自分が続け たいこと、挑戦したいこと に一週間取り組む。</p>	【関】家族のために自分で できることを考え、継続して 実践しようとしている。 (ワークシート)
		11	○自分が続けていることを、 グループの友達と伝え合 う。	【思】家庭生活をよりよくす るために取り組んできたこ とを振り返ったり交流した りしている。 (発表、ワークシート)
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めいじん金メダ ルをゲットしよう。</div> <p>【視点2 自分との関係 ～自分や友達の成長～】</p>	
		12	○家族への感謝の気持ちを伝 える手紙を書き、家族に届 ける。	【気】自分でできることや、 家庭生活における役割が増 えた自分や友達の成長、よ さに気付いている。 (発表、ワークシート)
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ありがとうをつたえよ う。</div> <p>【視点2 自分との関係 ～自分と家族の絆～】</p>	【気】家族の大切さや、自分 が家族によって支えられて いることに気付いている。 (発表、ワークシート)

4 本時の指導（8／12）

（1）ねらい

家で手伝ってきたことを発表したり聞いたりすることを通して、自分の役割を継続的に果たそうとしたり、増やそうとしたりするとともに、友達の工夫や自分の成長に気付くことができる。【気】

（2）評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
自分でできることや家庭生活における役割が増えた自分や友達の成長、よさに気付いている。	これまでのカードの言葉や話し合いのことを思い出すよう、児童の発表する場に寄り添ったり価値付ける言葉がけをしたりする。

（3）研究内容に関わって

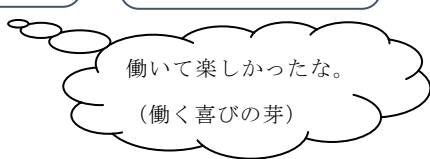
【内容②】 指導方法の工夫（互いの気付きを交流する活動）

- ・交流の場を設け友達の発表を聞くことで、お手伝いに対する気付きがもてるようにする。
- ・ふり返りカードに記入させることで、家族の存在の大切さに気付き、その後も家庭で継続的にお手伝いをする気持ちを高める。

【内容③】 資料活用の工夫（活動意欲を高める具体物の提示）

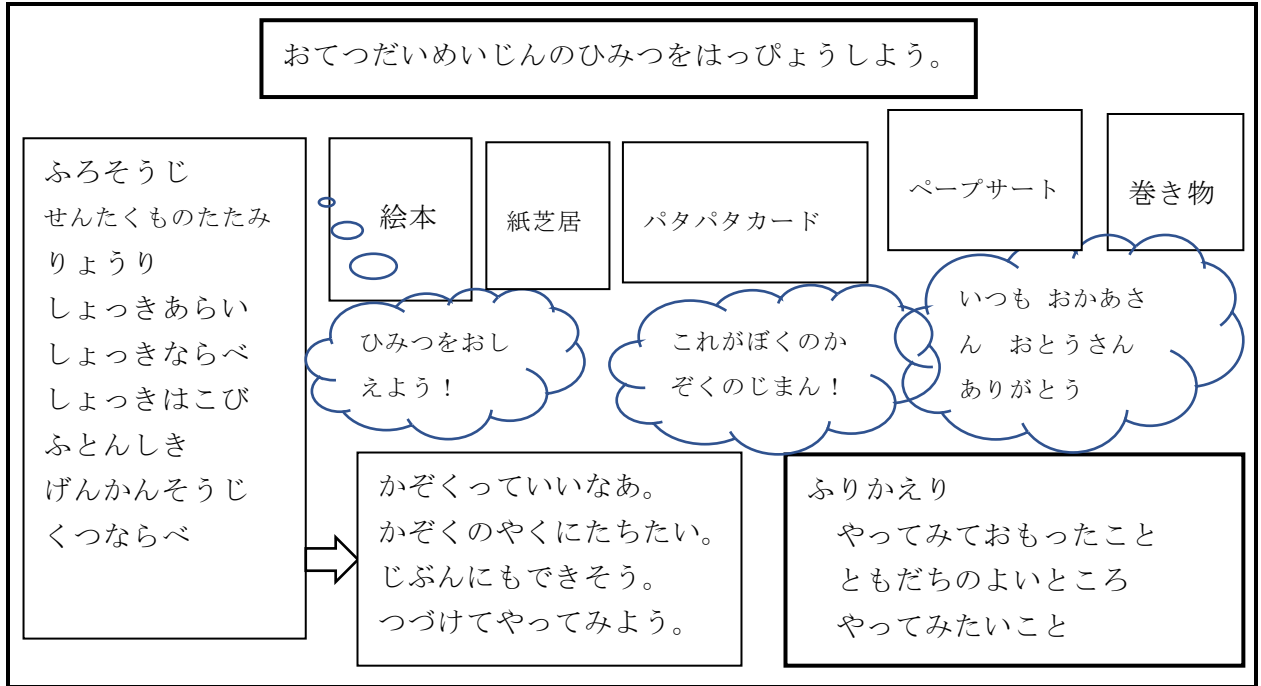
- ・であう段階で、自分たちが1学期に働いている写真を提示することで、自分の中に「働く喜びの芽」があることを自覚させる。
- ・絵本、紙芝居、パタパタカード、ペープサート、巻き物等の表現方法を選択し、工夫させたり発表の場（ステージ）をつくったりして、自分で伝えたいという意欲を高めるようにする。

（4）展開

段階	活動の流れと予想される児童の反応 【見方・考え方】	形態	・指導上の留意点 ◇評価
であう 8分	<p>1 発表方法のそれぞれの道具を紹介する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;">発表するのが楽しみ だな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;">友達はどんなふう に発表するのかな。</div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;">  <p>働いて楽しかったな。 (働く喜びの芽)</p> </div> <p>2 本時の課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">おてっだいのひみつをはっぴょうしよう。</div>	全 全	<p>・指導上の留意点 ◇評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期、学校での給食当番、縦割り清掃の写真を掲示する。 【内容③】 ・製作した物との出会いを大切にし発表に意欲、関心をもたせる。 【内容③】 ・ふり返りカードの使い方を知ること、自分と友達の発表に聞き方の視点をもたせる。

<p>かわる30分</p>	<p>3 「わたしとかぞくのものがたり」を発表する。 絵本…家族の仕事等を物語風に絵と文でまとめる等。 紙芝居…絵が変化することにおもしろさが伝わるよう絵と文でまとめる等。 パタパタカード…家族をカードに描いて貼っていく等。 ペープサート…家族の会話を中心に役割演技で紹介する等。 巻き物…自分の家族の1日を順番に巻き物にして、まとめて振り返る等。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>～さんは、家族を大切にしているんだな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>～さんのおてつだいには、ひみつがいっぱいだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わたし～さんの1日は、ちょっと違うな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家族は、みんなで働いて支え合っているんだな。</p> </div> <p>【視点2 自分との関係～自分と家族の喜び】</p>	<p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表のルールを確認する。 ・1号車が発表者となり，2，3号車は聞き手となって交流の中心者となる。 ・自分の家族への思いや家族の思いを伝える工夫をする。 ・友達のお手伝いに対する気付きを交流させる。【内容②】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><支援> 発表者のそばに教師も寄り添い，安心感を与え，家で手伝ったことを価値付けることで，自分の成長への気付きを促す。</p> </div> <p>◇ 【気】 友達の発表を聞いて，お手伝いを継続させたいという気持ちを持ち，自分や友達のお手伝いのよさに気付いている。 (発言・発表・ふり返りカード)</p>
<p>ふりかえる7分</p>	<p>4 本時の活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>～さんの発表から，洗濯物のたたみ方のひみつがわかったから，家でもやってみたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これからも続けて家のお手伝いをしていきたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家族のために役に立ちたいなあ。毎日，ありがとう。</p> </div> <p>5 VTR（前半）を見る。 (※後半は次時に見せる。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みんなしんけんがんばっていたんだなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もっとできそうだよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>～さん，すごいなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がんばってよかったなあ。</p> </div> <p>6 次時の活動内容を知る。</p>	<p>個全全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星に色を塗る振り返りにすることで，全ての児童が迷わずできる振り返りができるようにする。色を塗ることだけで留まっている児童から，気持ちを聞き取り，共感したり，認めたりする。 ・家庭で撮影してもらった写真のVTRを見ることで，家庭でのお手伝いを継続する気持ちをもてるようにする。 ・「家族の支え合いの芽」を自覚させる。

(5) 板書計画



(6) 場の設定 (1年3組教室)

